

埼玉県立鶴ヶ島清風高等学校

Saitama Prefectural Tsurugashima-Seifu High School

令和5年度
第1回 協働教育ネットワーク会議

Report

令和5年6月16日(金)開催

令和5年6月16日(金)に令和5年度第1回協働教育ネットワーク会議(学校評議員会・学校評価懇話会)を開催しました。当日は学校評議員、PTA・後援会代表者、生徒会生徒の学校関係者の皆さんと教職員による鶴ヶ島清風高校の現状と課題、今年度の目標とその実現に向けた様々な取組について、意見交換を行いました。

15時30分から始まった会議では、今年度の「学校自己評価システムシート*1の記載内容に関する学校からの説明を受けて、各委員から御意見と御感想をいただく流れで進行していきました。

以下に第1回協働教育ネットワーク会議で委員の皆さんからいただいた御意見・御感想の一部を御紹介します。



令和5年度 第1回 協働教育ネットワーク会議

学校評議員:「自ら考える力」を身につけて自ら行動できるようにしなければ社会人になって困ってしまうだろう。学校生活において主体性が育めるよう指導して欲しい。

生徒:先生からの指示待ちの生徒は多い。生徒に考えさせるように先生方も指示を出し過ぎないようにすべきではないか。

学校評議員:ICTを活用した学習指導における評価や検証を適切に実施することも必要である。

学校評議員:コロナ禍の中、多くの高校が学校紹介動画を制作するようになったため、中学校ではICT機器を活用した高校選びが浸透している。

地域代表者:地域でのボランティアなどの取組に参加している生徒を適正に評価しつつ、進路指導に生かしていただきたい。

「事前アンケート」から

学校評議員:全てがICTを活用した授業ということではなく、子供たちが自分に合った方法で学ぶ選択ができ、その選択肢の一つがICTという考え方もあると思う。

学校評議員:「個別最適な学び」については中学校においても研究中である。鶴ヶ島清風高校の「習熟度別授業」に期待している中学生は多いので、今後も丁寧な指導をお願いしたい。

学校評議員:「より学びを深める」ためのICT機器の活用方法の研究が必要だと思う。

*1 学校自己評価システムシート

「学校自己評価システムシート」は、年度当初に本校が策定した目標の達成状況や次年度に向けた課題と改善策等に記載したものです。「学校自己評価システム」とは、「目指す学校像」の実現に向けて学校が今年度どのような目標を掲げ、どのように取り組んでいくのかを明確にし、自ら評価を行うことで、学校の教育力の向上を図っていくものです。

「学校自己評価システムシート」に記載している目標体系等は次のとおりです。

*目指す学校像:10年先を見据えた長期目標

*重点目標:3~4年程度の中期目標

*評価項目:重点目標達成に向けた今年度の目標

*具体的方策:評価項目を達成するための方策

*評価指標:方策の達成状況を把握するための指標

学校・家庭・地域の連携・協働の在り方について

学校・家庭・地域の連携・協働の在り方と連携・協働の推進についての御意見を伺いました。

学校評議員:学校と地域との連携は積極的に推進すべきだとは思いますが、「学校の働き方改革」の流れを考慮すると現実問題としてそれは難しいことであると考えます。

学校関係者:「必ずしも教員が担う必要のない業務」など、学校・家庭・地域の役割分担を明確化しつつ、「学校が担うべき業務」の効率化と精選が必要だと考える。

学校評議員:地域のボランティア団体や市民団体が生徒の活動を直接的にサポートする体制が構築できると良いのではないかと。

生徒:学校を仲介しないで公民館などのボランティア活動に参加することも考えたい。

